

自動熱収縮率・熱応力測定装置

Section. 20

Cat. No. TS-5

= 概要 = 本装置は、タイヤコード系やエアバック系の熱に対する収縮率並びに熱応力を測定する為の専用装置で、一台に収縮測定用回転式測長器及び熱応力測定用ロードセルが各10組装備されています。

これら収縮率や応力を測定する事は、系の品質管理の上で非常に重要なファクターとなります。判定基準としては、貴社にて標準系を設定し、その系とサンプル系のデータとを比較する事により大きな相違が無いかを比較検討致します。

= 特徴 =

- ・ 一台の装置で熱収縮率測定 / 最大10サンプル、あるいは熱応力測定 / 最大10サンプル、何れかの測定が選択できる。
- ・ 測定データは、P/Cにて表示並びに蓄積し、10本までのテストデータがモニター上で表示出来、データの比較検討が簡便である。
- ・ ヒーター部の移動はエアシリンダ制御で、ヒーター開口部は昇温時並びに測定時カバーが自動的に開口部をふさぐ為、環境温度に影響されにくく常に一定条件下での測定が可能です。
- ・ 一定昇温カーブでの昇温設定が出来、各温度変化による熱収縮率、熱応力測定が可能。
- ・ 一定温度下での熱収縮率、あるいは熱応力測定が可能。

= 仕様 =

型 式: TST-510
 収縮率測定範囲: +80 ~ -500 %
 収縮応力測定範囲: 0 ~ 2000 cN
 (オプション: 5 ~ 10000 cN)
 設定温度: 45 ~ 300
 昇温設定範囲: 1 ~ 8 /分
 初 荷 重: 29g, 62g, 99g,
 150g, 165g
 各10個
 適 応 規 格: ASTM D4974,
 D5591, EN13844
 データ処理装置: デスクトップコンピューター
 (OS: Windows 7)
 電 源: AC100V or 200V
 50 / 60Hz, 単相



* 改良の為、仕様・外観は予告なく変更する場合があります。